

平成27年度(繰越)地方創生加速化交付金事業総括表

担当課: 商工観光課

事業名	DMO構築による山岳高原観光推進事業			
事業主体	栄村			
連携自治体 (○代表自治体)	○長野県、東御市、小諸市、大田市、白馬村、小谷村、阿智村、木曾町、大滝村、飯山市、中野市、妙高市、山ノ内町、野沢温泉村、栄村、信濃町、飯綱町、木島平村			
	363,000円	(内交付金)	363,000円	
事業概要	DMOの構築や継続させていくための人材育成・確保に向け、観光庁に登録したDMO候補法人のリーダーを対象とした「DMOリーダー養成塾」の開講、各地域の住民意識の醸成のためのDMO関係のセミナー・勉強会開催への支援、各地域が行うマーケティング実施に対する支援など、県、市町村が連携しDMO設立を促進。			
重要業績 評価(KPI)	平成28年年間観光者数	目標値	10.2万人	実績値 10.6万人

事業内容 (平成28年度に実施した内容)
<p>広域観光旅行商品造成(メディアトリップ関連インバンド関連、youtube用映像編集等)信越自然郷パンフ・マップ等の訴求ツール作成(信越自然郷パンフレット多言語版の作成、japan eco trackガイドマップ等の作成)、サイクルステーション整備(工具の整備、スタンド整備、ステーションサインの作成設置等)、観光拠点へのバス運行</p>
事業効果
<ul style="list-style-type: none"> ・信越自然郷エリア冬体験を外国人向けに商品化し販売。インターネット、SNSの情報発信により訴求を図る。6回催行、13名の参加。 ・在日外国人向けにDoogle Adwardsにてアクティビティのプロモーションを映像をYou Tubeにて配信。実施期間14日間で動画表示回数で395,594回。 ・メディア、旅行エージェントを招待し、信越自然郷エリア内のアクティビティ事業者及び各施設で提供しているアクティビティを体験して頂き、今後の取材や情報発信及び商品開発に活用いただいた。 ・自転車等アウトドアモデルコースの開発として、ルートの一部補正、新たにサイクルショップとして協力する事業所登録及びマップの掲載。(英語版のパンフも作成。) ・信越自然協内にサイクルステーション26箇所を新たに設定し、バイクスタンド、空気入れ、工具を設置・信越自然郷エリアの2次交通の時刻表を一元化し方面別に整理し利用者によりわかりやすい時刻案内を実施。(9市町村の観光協会、飯山駅観光案内所、県観光機構、銀座NAGANO、県大阪事務所等へ設置) ・高原シャトル便の運行(木島平～カヤノ平～切明)運行期間:6/25～10/23 乗車人数:490人
今後の取組み (平成29年度以降の取組み)
<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング調査の実施(ビックデータ等活用) ・広域観光旅行商品の造成 ・パンフレット・マップ等PRツール作成(多言語版含む。) ・サイクリング環境整備(サイクルステーション設置) ・多言語通訳クラウドサービス導入

栄村総合戦略推進委員評価欄

事業評価	A大変効果があった=2名、B効果があった=3名 Cあまり効果が無かった=2名、D効果はなかった=0名	→	効果があった
【委員意見】	<ul style="list-style-type: none"> ・取組みをされているが、栄村に集まって来る人が少ない。近隣町村との連携をしっかりとってほしい。 ・取組みはとても素晴らしいが、栄村にどのくらいの効果があるのか分からない。 ・サイクリング等常態化し集客に繋がっている。今後はトレッキング等にも力を入れ集客を図ってほしい。 ・YouTubeの映像は好評でした。サイクルツーリズムは欧米で盛んで、外国語対応のツール開発に期待できそうと思います。 ・サイクルツーリズムの展開にあたっては交通安全対策が連動してくるかと思っています。 ・広域観光の取組として、栄村への直接的効果が顕著ではないと思われるが、さらに栄村にも効果をもたらすよう強く要望すべき。 ・シャトル便の取組は今年栄村も始めたところであり期間、時季を考慮して継続すべき。 ・動画表示回数等を見れば、興味を持った人が多数いると考えられ、今後ジオガイドの養成、宿泊施設の充実、ブランド化等により良いアイデアを期待します。 ・気軽に借りられる自転車があるといいと思います。 		

平成27年度(繰越)地方創生加速化交付金事業総括表

担当課：教育委員会事務局

事業名	苗場山麓ジオパーク推進事業		
事業主体	栄村		
連携自治体 (○代表自治体)	○津南町、栄村		
総事業費	2,890,000円 (内交付金) 2,890,000円		
事業概要	各ジオパークサイトの整備、ガイド養成、特産品開発、PR活動等を行うと共に、地域の自然、地質、文化を学び、地域の人々が郷土に愛着と誇りを持つ活動に重点を置きながら「新しい人の流れ」を作り、重要な地質遺産の保護と地域の社会的経済的発展を目指す。		
重要業績 評価(KPI)	平成28年年間観光者数	目標値	実績値
		10.2万人	10.6万人

<p>事業内容（平成28年度に実施した内容）</p> <p>(1)大会・研修会への参加 日本ジオパークネットワーク全国大会・研修会・中部ブロック大会、ジオパーク新潟国際フォーラム、地球惑星連合大会、雪国ジオパークフォーラム</p> <p>(2)ソフト事業 ①ガイド養成…講座・研修会の開催 ②パンフレット、ポスター、ガイドマップ等の作成 ③モニターツアー</p>
<p>事業効果</p> <p>認定ジオガイド数…58名(うち栄村12名) 秋篠宮ご一家、苗場山麓ジオパークを見学(8/3～8/5) 展示や大会・研修会、モニターツアー等の事業により、延べ7590人の参加・来訪者があった。</p>
<p>今後の取組み（平成29年度以降の取組み）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も津南町と連携し苗場山麓ジオパークを活かした学習を通じ地域の人々が郷土に愛着と誇りを持つことに重点を置くとともに、ジオサイトの保護管理や学術調査を進め、更に充実した活動を目指す。 ・平成30年には、日本ジオパークネットワークによる再審査が実施される。

栄村総合戦略推進委員評価欄

事業評価	A大変効果があった=1名、B効果があった=5名 Cあまり効果が無かった=1名、D効果はなかった=0名	→	効果があった
<p>【委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイドの活躍に期待したい。ジオパークを知らない人がいるので、広報等してほしい。 ・窓口が津南町で、具体的に栄村にはどんな効果があるのか。今後、栄村に来てもらえる取組みをしてほしい。 ・今後の取組みを強化することにより、参加者の増大を図ってほしい。 ・県境をまたいだ活動は何かと調整が多いかと思いますが、同時に今後の可能性も大きいように思います。 ・KPIはカウントが可能であれば秋山郷の観光客数に限った方がよいのではないかと。 ・認定ガイドの活用の仕方が課題。 ・ガイドの養成については、広範囲の知識を必要とするため、細分化して特定の専門家を養成した方がよいのでは。 			

平成27年度(繰越)地方創生加速化交付金事業総括表

担当課：教育委員会事務局

事業名	新潟県ジオパーク資源を活かした広域観光推進事業		
事業主体	栄村		
連携自治体 (○代表自治体)	○糸魚川、新潟県、佐渡市、津南町、栄村		
総事業費	255,000円	(内交付金)	255,000円
事業概要	ジオパークを有する4市町村と新潟県が連携し、観光客のニーズ分析に基づいた戦略的なマーケティングを担う組織を立ち上げ、戦略に基づいた受入体制の整備や情報発信等による誘客を行う。		
重要業績 評価(KPI)	観光客数 村内宿泊者数	目標値	実績値
		11万人(H32) 1.5万人(H34)	10.6万人(H28) 1.9万人(H28)

事業内容（平成28年度に実施した内容）

「ジオパーク新潟国際フォーラム」の開催

〈テーマ〉東アジアのネットワークをひろげよう ～新潟・大地と雪が織りなすジオパークからの発信～

〈目的〉新潟県の豊かな資源を活かしたジオパーク活動の県内、国内、世界への情報発信

〈会期〉平成28年7月27日 東アジアネットワーク会議

平成28年7月28日 基調講演、パネルディスカッション

〈会場〉新潟県 朱鷺メッセ・新潟コンベンションセンター

〈主催〉ジオパーク新潟国際フォーラム実行委員会（佐渡ジオパーク推進協議会、苗場山麓ジオパーク推進協議会、糸魚川ジオパーク協議会、新潟県、国立新潟大学、新潟県立大学、新潟県商工会議所、新潟県商工会、新潟県観光協会）

〈苗場山麓ジオパーク〉体験ブースの出展

事業効果

〈来場者〉2日間で延べ2,540人

今後の取組み（平成29年度以降の取組み）

今後も苗場山麓ジオパークを活かし、活動・学習を通じ地域の人々が郷土に愛着と誇りを持つことに重点を置き、雪国文化・地域資源を活かし、特色ある観光事業の展開、新たな人の流れを形成し地域振興を図る。

栄村総合戦略推進委員評価欄

事業評価	A大変効果があった=1名、B効果があった=2名 Cあまり効果が無かった=2名、D効果はなかった=0名	→	効果があった
------	---	---	--------

【委員意見】

- ・広報不足による参加者、宿泊者の低迷の為、広報活動に力を入れることを望む。
- ・長野大学で地域づくり総合センターという部局がありますので、協力できることがありましたらお声かけください。
- ・新潟県はジオパークに力を入れており、糸魚川にはジオパークの博物館まで存在する。新潟県と手を組んで、学術面からの補強と観光面からのPRに引き続き尽力してほしい。
- ・南アルプス、浅間山、苗場山の連携は可能か。
- ・評価しにくい。

平成28年度地方創生推進交付金事業総括表

担当課：教育委員会事務局

事業名	苗場山麓ジオパーク推進事業			
事業主体	栄村			
連携自治体 (○代表自治体)	○津南町、栄村			
総事業費	1,162,852円	(内交付金)	510,000円	
事業概要	ジオサイトの整備、PR、ジオサイト案内の充実を図る。			
重要業績 評価(KPI)	平成28年年間観光者数 宿泊観光客数	目標値	53.5万人 9.5万人	実績値 55.0万人 9.7万人

事業内容（平成28年度に実施した内容）

(1)ソフト事業

- ①ホームページ更新委託料
- ②学術調査

(3)ハード事業(栄村分)

- ①解説看板設置…天池、大瀬の滝
- ②展望地…さかえ倶楽部スキー場展望地(看板設置)
- ③土器レプリカ制作(長瀬新田出土「火焰型土器」)

事業効果

- ・ホームページを集客用に特化した内容にリニューアルすることができた。(モデルコースを載せるなど)
- ・訪問者に配慮した、ジオサイトの解説看板を新たに2カ所設置した。(栄村内 計7カ所)
- ・火焰型土器のレプリカを制作し、栄村歴史文化館や栄村総合文化祭で展示し、村民及び来訪者にPRすることができた。

今後の取組み（平成29年度以降の取組み）

- ・今後も津南町と連携し苗場山麓ジオパークを活かした学習を通じ地域の人々が郷土に愛着と誇りを持つことに重点を置くとともに、ジオサイトの保護管理や学術調査を進め、更に充実した活動を目指す。
- ・また、看板設置やビューポイント整備といった、訪問者に配慮した施設整備を進める。
- ・情報発信による内外へのPRを進める
- ・平成30年には、日本ジオパークネットワークによる再審査が実施される。

栄村総合戦略推進委員評価欄

事業評価	A大変効果があった=2名、B効果があった=3名 Cあまり効果が無かった=1名、D効果はなかった=0名	→	効果があった
------	---	---	--------

【委員意見】

- ・看板設置は良かったと思う。
- ・観光客をどう呼ぶかが重要だと思います。
- ・ジオパーク事業は観光的な面が大きいので、商工観光課に事業を移し、より積極的な取組を望む。
- ・KPIは栄村の数値で比較してほしい。
- ・「看板を置くべきか、置かざるべきか」という論点は、ガイドの方の活躍の場づくりと並んで、観光を学ぶ大学生には何よりの研究テーマのなると思いました。「活かした学び」の機会になりそうです。とても期待しています。
- ・看板、レプリカ設置はとても効果的であり、引き続き拡大してほしい。
- ・看板の数量が増えて、冬季などの管理が大変になる。土器のレプリカはとてもきれいでした。
- ・住民向けにジオスポットの説明会を実施してほしい。